

傾聴ボランティア

「あいりす」通信

第 28 号



〒682-0025 倉吉市八屋 301-1

はーとぴあ創造内 あいりす事務所

電話番号 0858-24-5378

携帯電話 090-2804-8014 (竹森)

E-mail:ailis@heart-ailis.com

<http://www.heart-ailis.com>

平成 27 年度傾聴ボランティア養成講座 (第 3 回)

日時:平成 27 年 11 月 14 日(土)13:30~15:30**会場:倉吉福祉センター2階 中会議室****演題:地方創成と女性と高齢者の活躍****講師:小澤幸生鳥取県長寿社会課長**

会員は12時30分までに会場
においで下さい。



超高齢社会に突入した我が国。

今まで体験したことがない事態を私たちは、愛と知恵で乗り越えていかなければならない。愛と知恵を生み出すためには、衣食住が満たされるのと同様に自分を受け入れて(傾聴)もらう必要がある。

傾聴ボランティア養成講座(第3回)は小澤幸生鳥取県長寿社会課長に「地方創成と女性と高齢者の活躍」について講演していただく。これからの社会の方向・生き方について斬新なお話が聞けるだろう。

傾聴ボランティア活動の、これからの時代の役割について一緒に考えてみませんか。

—超高齢・少子・人口減少・単身社会、そして元気な高齢者—〈参考文献「2050年超高齢社会のコミュニティ構想」岩波書店〉

現代の課題の一つは超高齢社会の対応である。今を生きる中高年は新しい町、高齢社会文化を創造していく役割を背負わされている。樋口恵子高齢社会をよくする女性の会理事長は課題を理解する5つのキーワードを挙げておられる。

- ① 生100年時代
- ② ファミレス社会(家族のいる人が少ない)
- ③ 大介護時代
- ④ ワーク・ライフ・ケア・バランス
- ⑤ 男女共同参画

大介護時代のにっぽん崩壊を防ぐには、根本的には高齢者介護費用を公共事業、人間の安全保障

費として計上するのが第一の前提である。同時に、その大介護の高波を少しでも低くし、要介護となる時期を少しでも遅らせ、かつ短くすること。平均寿命と健康寿命の差を縮小することは、個人的にも社会的にも望ましい。

高齢者の健康増進には、**栄養、運動、社会参加**が三大要素だと言われている。

平成 27 年 12 月 25 日 (金)

みなさん！ご予約に入れておいてください

会場：倉吉福祉センター 2 階 中会議室 にて

傾聴ボランティア養成講座（第 4 回）と 12 月定例研修会を開きます。

○傾聴ボランティア養成講座（第 4 回）13:30～15:00

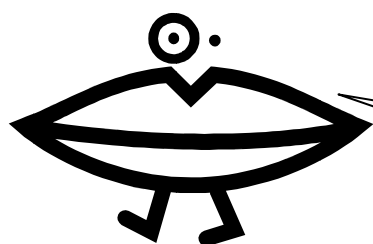
講師：浜田妙子傾聴ボランティア「あいりす」顧問

演題：よい聴き手になるための、コミュニケーション

○12 月定例研修会 15:00～16:00 会費：500 円

美味しいコーヒーとお菓子でプチクリスマス会をします。

皆でおしゃべりをして、楽しい時間を過ごしましょう。



あのね！（会員のつぶやき）



数年前に誘われて、何気なく「傾聴」という言葉に引かれて入会しました。鈴木絹英先生の講習は何度か受けましたが、その話は具体的であり、とてもインパクトがあり、説得があります。

私自身、傾聴活動するに当たって、「笑顔」・「7対3」などの基本原則を心掛けておりますが、なかなかです。傾聴活動中の時間の経過とともに、次第に雑談になってしまいます。(反省)それでも傾聴活動を終えて訪問先から帰る時には、相手の方からは感謝の言葉をいただき、玄関まで見送っていただいております。誠にありがたいことだと思います。

毎日が反省の連続であります。続けることによりスキルアップできれば・・・、と勝手に思いながら活動しています。(岡本 和夫)

事務局より

秋が深まり、北海道では雪の便り。皆様お変わりはありませんか。傾聴ボランティアのニーズが増え、「あいりす」にも依頼が来ています。中には「あいりす」としてはお引き受けできない方は、お断りをしています。養成講座(3回・4回)定例研修会があります。ご都合付けて参加をして下さい。会員のみんなで情報の共有を図り、知恵をだしてスキルアップをしていきましょう。